

# 心に残る文化財子ども塾 安来市立安田小学校

## 1. 活動の概要

6/20(金)、安来市立安田小学校で心に残る文化財子ども塾をおこないました。当日は6年生 14 名が担任 1 名、埋蔵文化財調査センター職員 2 名、安来市教育委員会職員 1 名の授業を受けました。

まず最初に校区の遺跡マップを見て学校と児童の皆さんの自宅を確認し、マップのどこに今いるか確認しました。そのあと、伯太町にはたくさんの遺跡があり、特に安田小学校の校区には集中していて、校庭と隣の丘陵に遺跡が存在したことを伝えると、驚きの声が上がりました。皆さんと廊下に出て遺跡のあった場所を確認しました。

自分たちの周りには多くの遺跡があって、昔から人が生活していた事を学んだあと、勾玉の学習を行いました。子ども塾の後半は勾玉づくりということで、勾玉の歴史を知り、作り方をしっかり学びました。本物の勾玉の製品や未成品にも触れることができ、これから作る勾玉のイメージをしっかりと思い描いているようでした。

そのあと、伯太町などで実際に出土した土器や石器に触れる機会を設けました。皆さん本物に触れるのは初めてということで、楽しみにしていました。土器や石器のほか、銅剣の模鑄品にも触れることができ、楽しそうに昔の人々の生活について友達同士で話合っていました。

後半は理科室で勾玉づくりです。怪我が無いように事前に注意事項を確認し、スタートしました。

今回は時間の関係で、ある程度勾玉に近い形の石を準備していました。それでも丸みを帯びた勾玉に近づけるようにみがくことは大変難しく、断面がうまく丸くならないようで苦労していましたが、同じ班のメンバーと相談し、道具の使い方など理解が進むことで、勾玉の形がどんどん完成に近づいていきました。最後に光沢が出るまでしっかりみがきひもを通して完成です。

昔の人々の勾玉づくりの苦労がよく分かったということでした。怪我もなく皆さん勾玉づくりができました。

## 2. 活動の様子



勾玉の歴史をしっかりと学んできます



銅剣って重い！

弥生土器や須恵器にさわろう



### 3. 子ども塾を終えて

#### 1)児童の皆さんから…

- 伯太町にたくさんの遺跡があること知って驚いた。
- 今の家との違いを見るために、竪穴住居に入りたい。
- 実際に遺跡に行ってみたくなった。
- 学校の敷地内に遺跡があったことが心に残った。
- ほかの地域の古墳や土器について知りたくなった。
- 本物の勾玉や土器に触れてよかった。
- 古代の鎧や武器作り、土器作りの体験をしたい。
- 勾玉作りが楽しかった。
- 実際に発掘をしたい

#### 2)担任の先生から…

- 当地域に多くの遺跡があることを知ることで故郷を誇りに思う気持ちを高めることができた。
- 歴史に興味の薄い生徒も感動や驚きの声を上げているのが印象的だった。
- 講義だけでなく、実物に触れたり、体験ができて生き生きと学習することができた。実際に見て、聞いて、学びを深めることができた。

#### 3)埋文センターから

校区の遺跡紹介や間鎌の歴史を学び、実際に発掘調査で出土した遺物に触れる体験と勾玉づくりを行いました。児童の皆さんはしっかり説明を聞き、体験では楽しく学ぶことができました。遺物に触れる体験では職員に質問をするなど興味をもって授業を受けてもらいました。勾玉づくりは難しいながらも創意工夫で時間内に完成し、喜んでいただけました。今回の授業をきっかけに、地元の歴史に興味を持ってくださるとうれしく思います。